

「國光神楽団」の練習を見学してきました。

2025/2/7（金）全国的豪雪となったこの日、広島市安佐南区伴福祉センターで行われた「國光神楽団」（くにみつかぐらだん）の練習を見学してきました。

この日は夕方から風雪が強まり、福祉センターの駐車場は雪で全く地面が見えない状態です。悪天候の中、神楽団のメンバーは集まり、福祉センターの会議室で練習はスタートしました。



國光神楽団は、「十二神祇神楽(じゅうにしんぎかぐら)」の保存・伝承・発展に取り組んでいる 2022 年に旗揚げされた団体です。十二神祇とは、天照大神（あまてらすおおみかみ）、月読命（つくよみのみこと）、素戔鳴尊（すさのおのみこと）、大国主命（おおくにぬしのみこと）など、十二柱の重要な神々のことで、その神々に奉納する総合芸術です。

広島は神楽が盛んな地域で江戸時代後期には國光神楽団の所在する沼田町伴地域だけでも 4 つの集落で神楽が継承されていたそうです。残念ながら、そのすべての継承が途絶えていましたが、それを令和の時代に蘇らせた神楽団です。

練習は大太鼓と小太鼓のみでスタートしました。大太鼓というには小さい印象をもちましたが、予想外に迫力ある音に驚きました。小太鼓は縄で締めていることもあって叩く位置や撥(ばち)の角度によって音色が大きく変わります。



太鼓に合わせて、笛が入ると、一気に神楽(かぐら)らしさがアップし、太鼓、笛だけとは思えない迫力です。



今回、練習にも関わらず、衣装をつけての舞の練習も見ることができました。小道具を持つての舞も見応えがありますが、衣装をつけると全く違った世界観が広がります。

一歩一歩の足の運びから細かい所作まで繰り返し練習する姿を見て、神楽の深さの一端を感じられた気がしました。

練習の合間にも「スサノオ」「ウズメ」といった言葉が聞こえ、神話の世界に少し近づいたかのような感覚に陥りました。

國光神楽団は、度々公演を行なっており、無料で鑑賞することもできます。詳しくはWEBで。

<https://kunimitsukagura.wixsite.com/kunimitsukagura>

(朝野)